



八幡だより

北区立八幡小学校

令和6年度 2月号

北区立八幡小

八幡小
公式 HP



節分を機に

副校長 米田 靖彦

節分とは「季節を分ける」という意味です。だから、昔は立春・立夏・立秋・立冬の前日の季節の変わり目のことをすべて「節分」と呼んでいました。昔の日本では、春は一年のはじまりとされ、特に大切にされたようです。季節の分け目には、悪いもの（邪気）が現れやすいとされていて、その悪いものの象徴が「鬼」なのだそうです。

節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪いものを追い出す日であり、邪気払いとして「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをしたり、恵方巻きを食べたりします。昔から豆には、鬼などの悪いものを追い出したり退治したりする効果があるといわれてきました。鬼は災いのもとと考えられていたため、豆をまくことで鬼を撃退しようとしたわけです。

つまり豆まきには、魔除けや邪気払いの意味があるということです。豆まきには、炒った豆が使われます。それは昔、人を食べる鬼に、神様が「この豆から芽が出たら人間を食べてもいいが、出ないうちに人を食べたら罰を与える」と鬼に豆を渡しました。鬼は、神様からもらった豆をまくのですが、待っても待っても芽は出ません。なぜなら、その豆はあらかじめ炒ってあったものだから。という話です。

鬼と聞いたら、角の生えた赤鬼や青鬼を思い浮かべる方が多いでしょう。実はもともとは鬼の姿は決まっていなかったそうです。見えない悪いものを鬼と呼んでいて、いろいろな話を通じて、段々と今の姿になっていったのだそうです。豆まきは、それらの見えない悪いものを鬼に見立て、それを追い払うために行われるようになった風習です。

節分の鬼といえば赤鬼のイメージが強いですが、節分の鬼の色は5色あります。仏教では、修行の邪魔をする5つの煩惱（人間の誰もがもっている良くない感情）を「5つの鬼」に例えて色分けしました。赤鬼は、貪欲。つまり欲望をもち【何でも欲しがる鬼】です。「鬼に金棒」で有名などげのついた棒を持っている有名な鬼です。青鬼は、瞋恚（しんに）。これは、怒りや憎しみ・悪意など。【いつも怒っている鬼】です。黄色は、掉挙（じょうこ）。後悔や我執の象徴です。【自分勝手にわがままな鬼】です。緑鬼は、睡眠（すいめん）。怠慢や眠気、不健康さを表しています。

【怠け者の鬼】です。黒鬼の疑（ぎ）は、疑いや愚痴を示しています。【人のせいばかりする鬼】です。

私たちの日常で、こんな鬼が自分の中にいるのではないのでしょうか。そんな自分の中にある鬼を追い出して、よりよい毎日を過ごすために「節分」をよい機会としたいと思います。そして、おいしい恵方巻きを食べて、良い一日・良い一年にしたいと思います。保護者・地域の皆様もよい一年になるよう願っております。

席書会 1月9日(木)



ユニセフ募金活動 1月21日(火)~23日(木)



代表委員会から
「ご協力お願いします。」の声掛けがありました。

